

# 民報 ゆうばり

# 「はたやま和也さん」を再び国会へ!

# 3市4町から136名 夕張に集う

## 日本共産党南空知後援会 「さくらまつり」開催

5月13日夕張市 産党南空知講演会 開催されました。  
館を会場に、「さくらまつり」が 当日は小雨のなか、



136名の内地元夕張からは30名が参加しました。第一部は「もぐたいム」の中で、Gブラザーズ4人組がギター伴奏と替え歌・愛の水中歌などを披露するとともに、「青い山脈」「北国」の春など知られた曲で参加者と交流を深めました。

前衆議院議員の島山和也さんが参加し、共産党と野党が結束し、安倍内閣を追求する国会情勢を具体的に報告しました。島山さんは次の参院

第二部は「わくわくタイム」として挨拶とメッセージ紹介などがありました。十区の衆議院議員神谷裕さんから国会の様子などをまじえたメッセージが寄せられ、市民と野党の連帯を訴えました。

はたやまさんが抽選を行いました。鈴木さん(富沢さん提供)が人気を集めました。また、た

第三部は「わいわいタイム」としておたのしみ大抽選会を開催しました。景品がたくさん用意され、



合間で開催されていた「投げ銭バザール」では、100円ドリッポコーヒー、アクセサリー、自然野菜・山菜の安売り、雑貨のたたき売りのコーナー等もあり、楽しくにぎやかな一日を過ごしました。



# 「さあ、変えるよ!」 はたやまポスター貼り出し



5月末、国会衆参  
予算委員会で森友疑  
惑、加計疑惑などを  
焦点に集中審議が行  
われ、加計疑惑など  
をめぐって、安倍政  
権の文書改ざん、隠  
ぺい、不当介入などウソ  
と欺まんの政権末期  
的な様相を呈していま  
す。こんな中で五月  
の晴天の日、夕張後  
援会の人たちが地域  
に日本共産党の風を  
ふかせようと、3日  
間にわたり、大小ポ  
スター80枚のノリ付  
け作業後、市内各地  
へのはりだしに汗を  
流しました。

参加した後援会員  
は、はたやまさんを  
再び国会へ送ろうと  
話し合いながら、「さ  
あ、変えるよ」ポス  
ターの貼りだし作業  
を終えました。

## くずさんの 夕張歴史散歩(88)

### 明治維新 夕張と幌内 5

明治維新と夕張は関係あるのだから。実は、夕張炭山開発をめぐって、薩摩藩閥の大きな力が働いていました。事は幌内炭山からはじまります。

#### 幌内炭山と鉄道

明治政府は、殖産政策の強化のためとして一二五〇万円の企業公債を発行し、そのうち幌内炭山の開発とそれに伴う鉄道の建設に、開採資金として百五十万円(うち茅沼炭坑に十七万円)を特別に交付します。

1878年(明治11年)10月には、開拓使本庁内に「炭開採係」を置き、本格的に始動します。1879年(明治12年)開坑に着手し、翌年1月から本格的掘進が開始されます。一方鉄道は、1880年(明治13年)1月小樽側から測量がはじまり、翌々年(明治15年)11月、手宮く幌内炭山間(当時一番長い鉄道・約91キロメートル)が全線開通し、幌内の石炭が小樽港に運ばれたのです。

#### 囚人労働による炭鉱と鉄道

鉄道敷設は突貫工事で行われ、数多くの犠牲者が人知れず

に葬り去られています。そして幌内炭山の開削にも、多くの囚人労働がありました。

もともと囚人労働を提唱したのは「伊藤博文」といわれます。彼は「囚徒の収容地は、囚徒に課すべき開墾の広大な土地と、良民に被害を与えぬための僻地である北海道が最適である。」と主張しています。

1881年(明治14年)9月、監獄である樺戸集治監(現月形町)が開かれ、その後、空知集治監として市来知村(現三笠市)にも設置されます。

明治政府は1886年(明治19年)8月、北海道の開発に囚人使役を正式に決定します。



紙智子「国会かけある記」  
参議院議員  
紙智子

#### 攻めの選挙に立ち向かう

札幌はライラックの花の季節です。ライラックのフランス語の呼び方はリラ、香りが強く風に乗って札幌の街中(まちなか)を漂い、さわやかです。中央区では女性のつどい、白石区では演説会が行われました。白石区の演説会は、来年のいつせい地方選挙で、市議会から道議会へ挑戦する伊藤りち子さん、そのあとを受けて、市議会に初挑戦する佐藤綾さん、そして参議院選挙区、定数三で畠山和也前衆議院議員、比例代表選挙で四選を目指す私、紙智子の四人のそろいぶみとなりました。

白石区はかつて定数三で道議会議員を出していましたが、今度こそ議席奪還を目指す攻めの選挙に立ち向かいます。伊藤りち子さんの「決断」、そして佐藤綾さんの「決意」を聞きながら、間違いなくみんなの心を奮い立たせていると思いました。

いつせい地方選挙のたたかいは、参議院選挙にも直結します。党の躍進を作り出した2013年の参院選挙は、直前に行われた都議選の勝利が参議院選挙の飛躍につながりました。野党と市民の共同を前進させ党の力量を高める決意をしました。

国会は6月20日の会期末まで一カ月を切りました。与党は、「もり・かけ」疑惑にふたをしたまま、法案だけは成立させようと強引な国会運営を行っています。「働き方改革」一括法案の強行採決、TPP協定をはじめ、数の力で押し通そうとしています。安倍暴走政治を、国会内外で共同を強めて退陣へ追い込みましょう。